

深刻化する人手不足への処方箋—

公共交通の担い手確保方策

～交通事業者、ドライバー、福祉有償・互助運送等の維持・確保・改善と開発戦略～

- 公共交通の持続性の担保—多分野連携による限られた「交通」資源の活用とモビリティ確保
- 超高齢社会のラストワンマイル—「交通」だけで支えきれない移動を担う多様な主体と仕組み
- 「地域の力」を生かした担い手養成—住民参画の福祉有償運送とタクシー事業の生活交通化
- 福祉・交通部門の連携—移動ニーズの地域課題化と訪問型サービスDの実施プロセス・効果

>>> 講師陣

鈴木 文彦
吉田 樹
清水 弘子
石川 貴美子

氏／交通ジャーナリスト、国土交通省「地域公共交通の活性化及び再生の将来像を考える懇談会」委員

氏／福島大学経済経営学類准教授、国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員

氏／NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長

氏／秦野市福祉部高齢介護課担当課長、国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」委員（神奈川県）

>>> 日時・会場

2018年8月22日（水） 10:00～16:50 日本教育会館・会議室（東京・千代田区）

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:25	交通事業の維持・改善とドライバー不足への業界・地域の対応 交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 氏 1. 交通事業を取り巻く環境変化と経営事情 2. 社会全体の課題となった交通・運輸事業におけるドライバー不足 3. 自動運転の普及は当面のドライバー不足には間に合わない 4. ドライバー確保をどのように進めるか 5. 限られた資源をいかに有効に活用して地域のモビリティを構築するか ～網形成計画や再編実施計画を画餅に帰さないために～ 6. 多分野連携とラストマイルへの考え方 7. 新たな発想でみんなが手を組んで取り組むことで公共交通の持続性を担保 【質疑応答】 東京学芸大学大学院修士課程(地理学)修了。フリーの交通ジャーナリストとして月刊誌「鉄道ジャーナル」等交通専門誌紙に記事・論文を掲載。特定非営利活動法人日本バス文化保存振興委員会副理事長。国土交通省「今後のバスサービス活性化方策検討小委員会(2006年度)」「バス産業勉強会(2008年度)」等。地域公共交通活性化・再生法定協議会(山口市、東京・檜原村他多数)、地域公共交通会議(新宿区、八王子市、小平市他多数)等多くの自治体の交通政策策定・運用に参画。
11:35 ～ 13:00	超高齢社会に求められるラスト・ワン・マイルの交通システム構築 ～多様な地域公共交通サービスの担い手確保～ 福島大学経済経営学類准教授 吉田 樹 氏 1. 地域公共交通における「担い手不足」の構図 (1)生産年齢人口の減少→20年間で1,000万人 (2)地域公共交通の「負のスパイラル」 (3)地域公共交通の維持に「共感」は得られているか 2. 超高齢社会における交通の諸課題 (1)高齢ドライバーに向き合うなぜクルマを手放せないのか (2)失われる交流機会 (3)デマンド交通の課題 (4)自家用有償運送も「担い手不足」 3. 求められる「密度の経済」 (1)長期的な戦略—土地利用と公共交通ネットワークの連携 (2)供給サイドの戦略—輸送の掛け持ち (3)需要サイドの戦略—鍵となる「相乗り」 4. 情報・技術の高度化は「くらしの足」を救うのか? (1)自動走行技術の期待と課題 (2)クルマと公共交通を「ハイブリッド」に使うライフスタイル (3)求められる「単純な」しくみ 5. MaaS(Mobility as a Service;モビリティのサービス化)が変える「くらしの足」と「働き方」 (1)鍵となる「価格の見える化」 (2)タクシー事業のライバルとは (3)拡大する「非流し市場」と歩合からの脱却 6. 公共交通の問題を「交通」だけで片付けられない (1)生活支援サービスとの連携—岩手県北上市口内地区 (2)地域福祉との連携—山形市、飯能市 (3)多様な主体による「のりしろづくり」 【質疑応答】
13:50 ～ 15:15	くらしの足を支える担い手づくり～地域の力を活かせるか～ NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク 理事長 清水 弘子 氏 1. 地域の外出支援を住民参加でつくる福祉有償運送と地域のたすけあい 2. タクシー事業者との連携 (1)ユニバーサルデザインタクシーの運転者を育てる (2)地域の生活交通としてのタクシー 3. 横浜市交通政策推進協議会の取り組みから 【質疑応答】 平成12年高齢者・障がい者の外出支援活動・移動サービスワーカーズコレクティブ「らら・むーぶ港北」を設立。平成14年福祉クラブ生協理事(～平成20年)。平成15年かながわ福祉移動サービスネットワークの設立に関わり、平成20年より理事長。神奈川県との協働事業で、市民参加による交通不便地域の地域交通づくりの推進に取り組み、神奈川県タクシー協会ユニバーサルデザイン(U・D)乗務員研修の講師として協力するなど、U・Dタクシーの普及を推進。地域では外出支援ボランティア養成のための講座を平成18年より主催しボランティア組織づくりに携わるなど、誰もが外出しやすいまちづくりをライフワークとして取り組んでいる。平成23年4月関東運輸局「地域公共交通マスター」を拝命。平成25年より横浜市交通政策推進協議会委員。
15:25 ～ 16:50	〔秦野市〕福祉と交通部門との連携による移動ニーズへの対応 ～訪問型サービスDとその後の取り組みの現状と課題～ 秦野市福祉部高齢介護課 担当課長 石川 貴美子 氏 1. 訪問型サービスDの実施プロセスとその効果 2. 高齢者の外出・移動に関する地域課題の検討 3. 移動支援の担い手養成と活動支援 4. 福祉と交通部門との連携による事業展開 5. 移動支援対策を行う上での留意点 6. 高齢者の移動ニーズにどこまで対応できるのか 【質疑応答】

【研修会の参加要領】

■日 時：2018年8月22日（水） 10:00～16:50

■会 場：日本教育会館会議室

東京都千代田区一ツ橋2-6-2(案内図は申込後送付)

■申込方法：裏面下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)。

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

■参加費(1名分)

	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一 般	35,000円	38,000円

※メディア参加申込の方へは、研修会開催後にCD(講演収録)と資料及び請求書をお送りします。

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替・現金書留・当日払い)

みずほ銀行麹町支店 普通1159880

三井住友銀行麹町支店 普通7411658

三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767

郵便振替:00110-8-81660 口座名:地域科学研究会

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一ツ橋6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234) 1231 FAX 03(3234) 4993
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【新刊】福祉と交通が連携した外出支援サービスとまちづくり――

超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略

～ウルトラ高齢・労働人口減少時代のバス・タクシー活用と市民参加の方策～

【執筆】 溝端 光雄 / 自由学園最高学部講師、元東京都老人総合研究所室長 三星 昭宏 / 近畿大学名誉教授、関西福祉科学大学客員教授
吉田 樹 / 福島大学経済経営学類准教授 鈴木 文彦 / 交通ジャーナリスト

【第1章】ウルトラ高齢時代の交通環境論

- 自由学園 溝端 光雄
1. ウルトラ高齢化と社会活性
 2. 歩行支援と移動手段
 3. 運転支援と移動手段
 4. 活老と近未来の地域づくり

【第2章】超高齢社会に求められる地域公共交通の戦略と戦術

～路線バスから「小さな交通」までのネットワーク化～

- 福島大学 吉田 樹
1. 地方圏で懸念される交流機会の減少
 2. 地域交通政策のベンチマーク「交通政策基本法」
 3. 公共交通網の軸としての「居住」
 4. 「拠点」を明確にしたネットワークの構築
 5. 誰が暮らしの足を支えるか
 6. 広がる「ニッチ(隙間)」……「小さな交通」への期待
 7. 暮らしの足を支える起点
 8. 地域住民による「暮らしの足」の確保
 9. 「暮らしの足」としてのタクシーの選択性向上策と「運賃」
 10. 「暮らしの足」確保は「総力戦」

【第3章】自家用有償運送、互助運送の活用と福祉・運輸部門との連携

- 近畿大学 三星 昭宏
1. 福祉有償運送(福祉移送・自家用有償運送)サービス
 2. 地域公共交通をとりまく情勢
 3. 障害者の身体条件と交通手段
 4. 改正道路運送法(2006年施行)と自家用有償運送
 5. 枚方市の福祉移送サービスの事例と今後の課題
 6. 国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」
中間とりまとめと、それを受けた平成30年4月の政府文書について

【第4章】地域交通の生き残りをかけた「貨客混載」戦略とその先 ～社会インフラとしてのバス・タクシーの限界と可能性～

- 交通ジャーナリスト 鈴木 文彦
1. なぜ、客貨混載なのか？
 2. 公共交通は社会のインフラ
 3. バス・タクシー事業におけるドライバー不足と高齢化の影響
 4. 複数モードのコラボレーションのこれまで
 5. 期待が高まる「貨客混載(客貨混載)」の仕組みと現状
 6. 「客貨混載」の効果・可能性と貨物車に人を乗せる新たな発想
 7. 今後への展望

【第5章【資料(抜粋)】】国土交通省・厚生労働省の政策情報 ～高齢者の移動手段確保のための交通・福祉制度の解説～

【新刊】労務倒産時代の生き残り戦略――

タクシー・イノベーションと乗務員不足対策への挑戦

～ライドシェアの先を見据えた経営改革とサービス開発～

【執筆】 貞包 健一 / (有)三ヶ森タクシー代表取締役(北九州市) 【前書き】 大井 尚司 / 大分大学経済学部門外教授

序(前書き) 交通事業イノベーションの可能性

大分大学 大井 尚司

1. 地域公共交通の現場を襲う「人手不足」
2. 地域公共交通に「イノベーション」は起きるのか
3. 本書の発刊の意味を考える

第1章 道路運送制度の変遷とタクシー産業

1. 道路運送制度と運賃制度の変遷
2. タクシー事業の変遷
3. タクシー事業の課題

第2章 ライドシェア躍進の背景とタクシー事業

1. 躍進するライドシェアのシステムとその事例
2. ライドシェアが躍進した事由
3. ウーバードライバーの特徴と評価
4. ウーバーとタクシーのサービス比較

第3章 タクシーのイノベーションに向けて

1. ライドシェアから学べること
2. 「タクシー」サービスの検証
3. フレキシブルなタクシー運賃とは
4. タクシー運賃の不思議
5. タクシーサービスと移送モード

第4章 規制改革推進会議への提案

～提案のねらい、結果とタクシー版働き方改革案～

1. コスト切り下げの工夫と制度の改正
2. 規制改革推進会議への提案
～その背景・経過とタクシーの高付加価値化～
3. タクシー改革と働き方改革

第5章【タクシー生き残り宣言】タクシーの公共交通化と地域創生戦略

1. 【光タクシー／北九州市】タクシーの地域交通化と生き残り戦略
株光タクシー 石橋 孝三
2. 【フタバタクシー／仙台市】タクシー創生に向けた挑戦
(有)フタバタクシー 及川 孝
3. 【三ヶ森タクシー／北九州市】タクシーサービス開発への挑戦

お問い合わせ：03-3234-1231

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書 2018年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『公共交通の担い手確保方策』: ☐当日参加 ☐メディア参加

■出版物の購入 ☐『超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略』 _____冊
☐『タクシー・イノベーションと乗務員不足対策への挑戦』 _____冊

勤務先 _____ 所在地 〒 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

〈通信欄〉○をつけてください

・支払方法 (銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)
・必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)
(請求書宛名等)